

島間の風

平成29年 5月29日

南種子町立島間小学校

第 5 号



小学校時代の子供の学習

校長 永留 良隆
一学期も半ばを過ぎようとしています。そろそろあじさいの花が咲く季節になりました。4月に比べると子供たちが大部落ち着いてきました。特に1年生は、これまで目立った姿(?)だったのが、校内風景に自然に溶け込んできました。あの桜が目立たなくなったように、いつの間にか「園児」から「児童」になりました。2か月で確かな成長を感じます。

さて、「織田信長、豊臣秀吉、徳川家康」の性格を言い表したものに、信長の短気な性格を歌った「鳴かぬなら 殺してしまえ ホトトギス」、秀吉の工夫する性格を歌った「鳴かぬなら 鳴かしてみよう ホトトギス」、家康の忍耐強い性格を歌った「鳴かぬなら 鳴くまで待とう ホトトギス」があります。3人の武将の性格を見事に歌っています。

この3人の性格を、「勉強をやりたがらない子供(昔の私・・・?)」に対する教師や保護者の考え方や対応に例えてみたいと思います。

短気な信長風にいくと、「もともとやる気がないのだから、ほっておけ。」てなものでしょうか。忍耐強い家康風にいくと、「今は、我慢して待つことが大切だ。あまり言い過ぎると反抗してやらなくなる。」と、じっと待つタイプでしょうか。工夫する秀吉風にいくと、「今、やる気が起きないのは何か原因があるはずだ。何とかしてみよう。」と工夫を凝らしてアタックするタイプでしょうか。もちろん、これらは一人一人の子供の実態や状況によって変わるものだと思います。

私は、小学校時代の保護者や教師の子供への対応は、基本的には「工夫する秀吉風」でいくべきではないかと考えています。もちろん、子供の実態や状況によっては忍耐強い家康風も大切です。しかし、家康風のように「いつかは勉強するようになるだろう。」では、あっという間に1年経ち、3年経ち、6年が過ぎてしまい、中学生になってしまうかもしれません。特に、低学年から家庭学習の習慣を身に付けさせることが大事なことだと思います。

子供はアジサイのように日に日に色を変え、成長していきます。その成長はいつも直線的とは限りません。曲線的になったり遠回りしたりしながら成長していきます。子供の可能性を信じて、親(教師)は走るよりも歩く心で対峙していきたいものです。

本校で能楽(のうがく)鑑賞会

保護者や校区の方々、どなたでも無料で鑑賞できます。気軽に御来場ください。日時:6月27日(火) 9:45~11:25 場所:島間小体育館

集団宿泊学習が無事終了・・・

5・6年生が、5月10日(水)・11日(木)、自然の家で3校合同(島間小・西野小・荃南小)の集団宿泊学習を行いました。前日の台風並みの大雨と突風で、当日の天候が心配されましたが、子供たちの願いが通じたのか二日間とも快晴でした。少々風は強かったものの、一人のけが人もなく無事1泊2日のプログラムを予定どおり終えることができました。島間港での釣り体験、海岸散策、野外炊飯、3校レクリエーション、ウォークラリー等で楽しい思い出がたくさんくれたようです。集合時間に遅れる子もなく、高学年としての自覚が伺える集団宿泊学習でした。また、今年度は島間小が当番校でしたが、田畑・久保両教諭が大車輪の働きをしてくれました。校長はただついていく・・・そんな感じでした。しかし、疲労困憊、本当に疲れました(≧◇≦)。



島間港での釣り体験



盛り上がったレクリエーション

職場体験学習で南種子中から3名

5月24日(水)~26日(金)までの3日間、3名の南種子中学生が本校で職場体験をしました。1名は本校卒業生、2名が大川小の卒業生でした。3人とも、終始澁刺とした姿勢で小学生に接してくれました。本校の子供たちは中学生からいろいろなことを学んだと思います。先輩の懸命に取り組む姿を見て、未来の自分に出会えた児童もいたかもしれません。また、5・6年教室では「先輩講話」の時間を設定しました。特に6年生は、中学校(教科学習、部活動等)について知るよい機会になったと思います。

【3人の生徒の感想】

- H・Iさん→自分が体験して、仕事の大変さや生徒には見せない所での活動があることが分かった。学んだことをこれからの生活に生かしていきたい。
- S・T君→先輩講話では、小学生に分かるように丸みをもたせて柔らかく話した。後から感想をもらって、自分の話したことが5・6年生に伝わったみたいで安心した。
- Y・Uさん→先生方は子どもたちのために自分たちの知らない努力をしていることが分かった。これからも与えられた仕事を最後までやり遂げられるように頑張っていきたい。

